

自己評価結果表【タイプB】（児童養護施設 同仁会子どもホーム）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	90.9%	9.1%	0.0%	○施設長講話、職員会議での共有、運営基本方針等 ×周知に不十分さ有り

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	72.7%	27.3%	0.0%	○管理職員会議、経営役員会
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	72.7%	27.3%	0.0%	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	95.5%	4.5%	0.0%	
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	90.9%	9.1%	0.0%	×職員理解・周知の不十分
(2) 事業計画が適切に策定されている。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	81.8%	18.2%	0.0%	○会議等での周知 ×職員理解の不十分
②	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	50.0%	45.5%	4.5%	×児童向け掲示あるも理解充分かは不明 ×保護者周知ない。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	81.8%	13.6%	4.5%	
②	9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	72.7%	22.7%	4.5%	○評価結果や分析・検討の場はある ×評価分析の職員理解不十分

Ⅱ 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	95.5%	4.5%	0.0%	○施設長講話
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	95.5%	4.5%	0.0%	○園内研修
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	90.9%	9.1%	0.0%	○グループ会議や連絡会での助言
②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	86.4%	13.6%	0.0%	

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	63.6%	36.4%	0.0%	×効果的な福祉人材確保の必要性 ×定着に課題
②	15 総合的な人事管理が行われている。	63.6%	36.4%	0.0%	
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	50.0%	45.5%	4.5%	○職員の意見や意向が取り入れられ働きやすいと感じる ×人手不足

(3)	職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	77.3%	22.7%	0.0%	
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	86.4%	13.6%	0.0%	○多くの研修に参加し内容も充実
③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	95.5%	4.5%	0.0%	○研修内容は非常に勉強になり種類も多い。
(4)	実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	90.9%	9.1%	0.0%	×実習生と施設との関りについて自分が理解不十分

3 運営の透明性の確保

(1)	運営の透明性を確保するための取組が行われている。	A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	95.5%	4.5%	0.0%	○ホームページ、ブログ、事業概要
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	95.5%	4.5%	0.0%	

4 地域との交流、地域貢献

(1)	地域との関係が適切に確保されている。	A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	90.0%	10.0%	0.0%	○PTA行事や畑作、寄付など通した積極的交流
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	90.5%	9.5%	0.0%	
(2)	関係機関との連携が確保されている。	A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	94.7%	5.3%	0.0%	○児相、学校、くれよんクラブとの密な連携
(3)	地域の福祉向上のための取組を行っている。	A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	81.8%	18.2%	0.0%	○施設長のCS活動参加と情報共有 ○要保護児童対策地域協議会、子ども食堂等の参加 ×児家センの活動などの理解不十分
②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	68.2%	31.8%	0.0%	○子ども食堂へのバックアップ

III 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1)	子どもを尊重する姿勢が明示されている。	A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	100.0%	0.0%	0.0%	○研修で繰り返し教えられ意識化できている。
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	90.9%	9.1%	0.0%	×居室の個室化ができていない。
(2)	養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	72.7%	27.3%	0.0%	×入所前の説明について不明
②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	77.3%	22.7%	0.0%	○受診状況なども細やかに報告 ×わかりやすさについて不明
③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	100.0%	0.0%	0.0%	○FSWによる家族への支援、要対協への参加
(3)	子どもの満足の向上に努めている。	A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	68.2%	31.8%	0.0%	

(4) 子どもが意見を述べやすい体制が確保されている。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	81.8%	18.2%	0.0%	○苦情や子どもの意見は運営会議にて共有、回答の協議をしている。
②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	77.3%	22.7%	0.0%	○意見箱の設置
③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	81.8%	18.2%	0.0%	
(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	100.0%	0.0%	0.0%	○職員会議時の共有 ○ヒヤリハットレポート等の取り組み推奨
②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	90.9%	9.1%	0.0%	・対応困難な環境
③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	95.5%	4.5%	0.0%	×対応体制は状況により変化するため訓練増が必要

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	90.9%	9.1%	0.0%	
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	86.4%	13.6%	0.0%	・グループごとに見直しができるようになっている。
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	95.5%	4.5%	0.0%	
②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	100.0%	0.0%	0.0%	
(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	95.5%	4.5%	0.0%	
②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	100.0%	0.0%	0.0%	

内容評価基準(24項目) A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	90.9%	9.1%	0.0%	○職員間の話題にもよく上がり研修効果感じる
(2) 権利について理解を促す取組		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	77.3%	22.7%	0.0%	○職員間の話題にもよく上がり研修効果感じる
(3) 生い立ちを振り返る取組		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。	68.2%	31.8%	0.0%	×ライフストーリーワーク取り組めない ×アルバム作成の進捗滞りがある ○母子手帳などを子どもと振り返ることがある。
(4) 被措置児童等虐待の防止等		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	95.5%	4.5%	0.0%	
(5) 支援の継続性とアフターケア		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A5 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	95.5%	4.5%	0.0%	
②	A6 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリビングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	81.8%	18.2%	0.0%	○退所児にも支援が継続されている

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A7 子どもの理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかりと受け止めている。	90.9%	9.1%	0.0%	○子どもの発言の意図を理解するために職員間で話し合うことが多い。
②	A8 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している。	90.9%	9.1%	0.0%	
③	A9 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子ども自身が自らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援している。	81.8%	18.2%	0.0%	×子どもの力を信じ切れず個々への対応に差が生じる。 ×見守る努力はするがトラブルになり易く気がでない。
④	A10 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	68.2%	31.8%	0.0%	×日課の関係で十分に遊ばせられない ×職員が子どもと遊ぶ時間の確保ができない。
⑤	A11 生活のいとなみを通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	95.5%	4.5%	0.0%	
(2) 食生活		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A12 おいしく楽しみながら食事できるように工夫している。	100.0%	0.0%	0.0%	○職員の手作りによる提供で様々な味わいが提供されている
(3) 衣生活		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A13 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	90.9%	9.1%	0.0%	
(4) 住生活		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A14 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	45.5%	54.5%	0.0%	×個室化がされていない ×老朽化 ×整理整頓、お掃除が不十分
(5) 健康と安全		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A15 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	95.5%	4.5%	0.0%	
(6) 性に関する教育		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A16 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	100.0%	0.0%	0.0%	
(7) 行動上の問題及び問題状況への対応		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A17 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	90.9%	9.1%	0.0%	
②	A18 施設内の子どもの間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	86.4%	13.6%	0.0%	×介入に努めているが不十分な点もある
(8) 心理的ケア		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A19 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	100.0%	0.0%	0.0%	
(9) 学習・進学支援、進路支援等		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A20 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	63.6%	36.4%	0.0%	×宿題の時間や休日の学習支援に携わる人手が足りない
②	A21 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	95.5%	4.5%	0.0%	
③	A22 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	100.0%	0.0%	0.0%	
(10) 施設と家族との信頼関係づくり		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A23 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	100.0%	0.0%	0.0%	
(11) 親子関係の再構築支援		A	B	C	【判断した理由・特記事項等】
①	A24 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	100.0%	0.0%	0.0%	